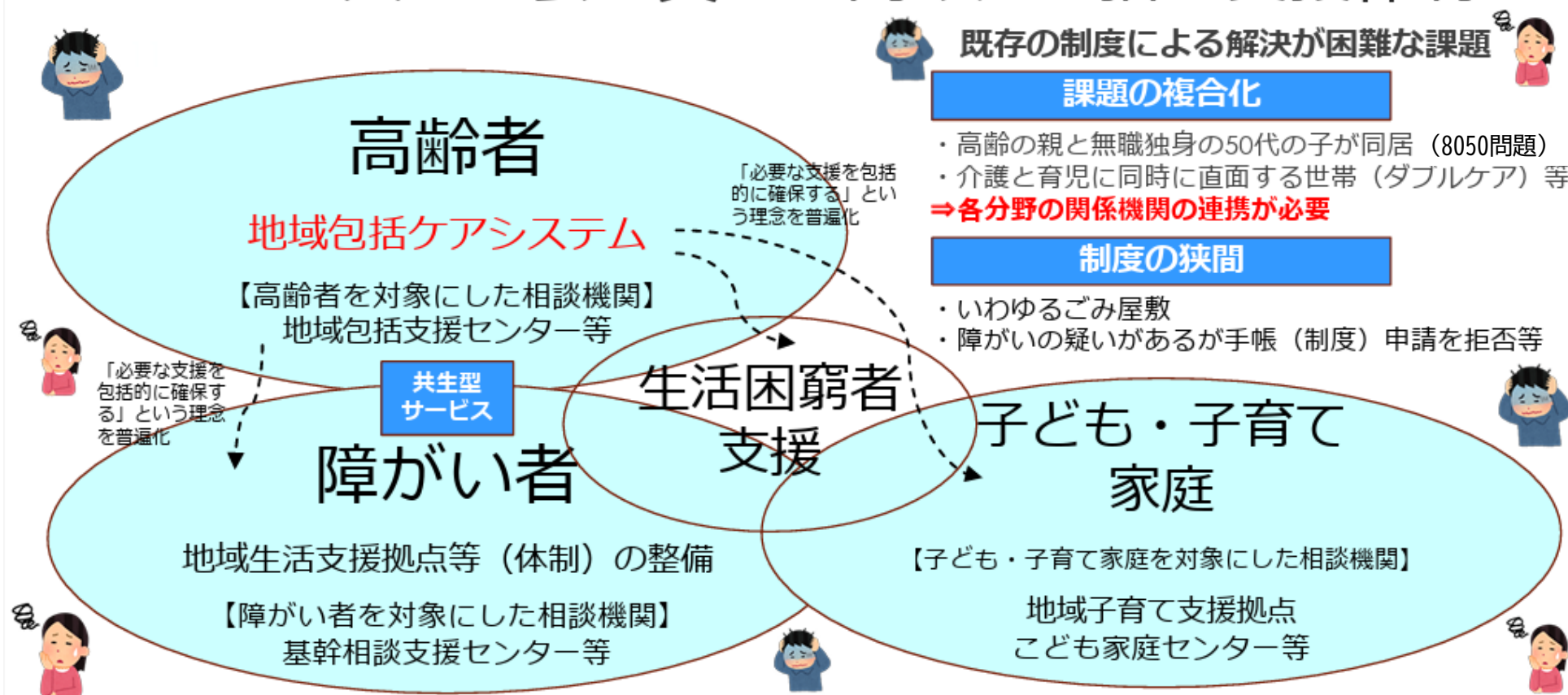




「**地域共生社会**」とは、年齢、性別、障がいの有無などにかかわらず、誰もが役割や生きがいを持ち、互いに支え合いながら、自分らしく暮らしていくことができる地域社会のことです。少子高齢化や人口減少、孤立や生活困窮者が増えている社会背景に対応するため、厚生労働省が提唱しています。その実現に向けた体制づくりが各地で進んでおり、**高齢者・障がい者・子どもの3分野それぞれに拠点となる相談機関**があります(下図参照)。少し形は違う部分もありますが、日田市にも同様の機関があり、今回はその紹介をさせていただきます。

地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制



土台としての地域力の強化

「他人事」ではなく「自分事」として考える地域づくり

日田市障がい者基幹相談支援センター

日田市からの委託を受け、「相談支援事業所はぎの」「Beeすけっと」の2事業所が共同運営されています。**障がい者等の相談支援の中心となるセンター**として、誰もが地域の中で自分らしく暮らすための地域作りに努めています。



こんな相談を受けています

- 障がいのある子どもの将来が心配
- 近所に困っている人がいる
- 会社で障がいについて学びたい
- 障がいのある人も楽しめるイベントをしたい 等

おもな役割

- 総合相談・専門的な相談支援
- 地域の相談支援体制強化の取組
- 地域移行・地域定着促進の取組
- 権利擁護・虐待の防止
- 地域自立支援協議会の運営

開所時間：平日8時30分～17時(土日祝、年末年始除く)
場所：日田市元町13-20 元町再開発住宅103号
電話：0973-28-5544 メール：hitakikan@circus.ocn.jp

日田市 こども家庭相談室



妊娠・出産・育児や子育ての悩みについて、保健師や家庭相談員が相談に応じます。**妊娠期から切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」**、**子育てに関する専門的相談を担う「子ども家庭総合支援拠点」**の2つの機能を担っています。

こんな相談を受けています

- 初めての妊娠が不安
- 子どもの成長が心配
- 病気や障害で子育てに不安がある
- 急用で子どもを預かってほしい
- 出産後の育児疲れ
- 周りに相談できる人がいない 等

できる手続き

- 児童手当
- 子ども医療費助成
- 児童扶養手当
- ひとり親家庭等医療費助成
- ショートステイ事業
- 産後ケア事業 等



開所時間：平日8時30分～17時(土日祝、年末年始除く)
場所：日田市役所1階 こども未来課内
電話：0973-22-8230

地域包括支援センター

65歳以上の「**高齢者**」の方を介護・医療・保険などの様々な方面から支えるためにある「**総合相談窓口**」です。

こんな相談を受けています

- 介護が大変なのでヘルパーさんに来てほしい
- 地域の方と集まっておしゃべりがしたい
- 今後のお金の管理が心配だが、頼める人がいない
- 長く入院してたので、退院後の生活が心配
- 近所に住む高齢者が虐待を受けている様子がある 等



おもな役割

- 総合相談
→ 日常生活の困りごとなどの各種相談
- 権利擁護
→ 成年後見制度の活用に対する支援や、高齢者虐待への対応
- 包括的・ケアマネジメント支援
→ 地域で活躍する介護支援専門員への個別指導や研修会企画
- 介護予防マネジメント
→ 要支援の方のケアプラン作成や「通いの場」の支援

4つのセンターがあり、担当地域が分かれています

西部 地域包括支援センター

日田市日の出町156
電話：26-0036
＜光岡・三花・小野・朝日・大鶴・夜明＞

東部 地域包括支援センター

日田市石井町1-271-2
電話：22-0248
＜三芳・高瀬・西有田・東有田・五和＞

中央 地域包括支援センター

日田市中ノ島町685-16
電話：23-2552
＜隈庄手・竹田・田島・豆田＞

南部 地域包括支援センター

日田市天瀬町桜竹1115-87
電話：57-9012
＜前津江・中津江・上津江・天瀬・大山＞

お住まいの地域の**担当センター**へご連絡ください